

白杵市 施策評価シート
(令和2年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	学校教育課	後藤徳一	3111

コード	V-12-26	施策名	幼(保)小中高連携の推進
施策の方針	ふるさとを担うたくましい人材を育てる		
まちづくりの方針	磨き輝き続ける市民がつながり、白杵っこが育つまち(学び)		
5年後のめざす姿	自己実現に向けて、自立した社会人となるための基礎学力及び基本的な生活習慣の定着を図るために、保育園・子ども園・幼稚園・小学校・中学校・高校18年間を通した一体教育をめざします。情緒豊かな人間性に加え、郷土に誇りと愛着を持ち、将来の白杵を支える人材として成長するように、幼保小の連携、小中・小中の連携、中高の連携及び家庭や地域との連携のさらなる強化を図ります。		
施策の内容	幼児教育と小学校教育とのスムーズなつながりを構築するために幼児教育推進協議会や幼保小連携推進委員会を開催し、情報交換や意見交換を積極的に行います。 高等学校卒業まで「白杵の子どもは白杵で育てる」を実現するため、白杵市の目指す子ども像を共通理解し、必要となる学力を保証します。また、キャリア教育を充実させ、中学校と高等学校で連携しながら取組をすすめていきます。		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
市内の高校の市内生徒率	進路調査結果	目標	割合	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
			実績	46.0	45.0					
			達成率							
小中一体教育ブロック別学習会に幼保を入れて行った研修の実施回数	ブロック別学習会の報告書	目標	回数	5	5	5	5	5		
			実績	5.0	5.0					
			達成率							
		目標								
			実績							
			達成率							
		目標								
			実績							
			達成率							
		目標								
			実績							
			達成率							
		目標								
			実績							
			達成率							
		目標								
			実績							
			達成率							
指標の分析			目標							
			実績							
			達成率							

9年間を見通した系統的な教育をめざし、中学校区5ブロックすべてがそれぞれの良さを生かして、授業改善や情報交換等に取り組んでおり、小中一体教育推進協議会も計画的に実施してきました。ブロックごとに学力状況調査結果の分析を行い、課題を共通理解して学力向上に取り組んでいます。また、幼児教育基本方針「白杵っこ育ての羅針盤」により、幼保小中一体教育として、幼稚園・保育園(所)と小学校とのつながりを積極的に進め、合同研修などにより「つながり」ある教育の実現に向けた取り組みを行っています。市内の高校への進学率は、目標値に達せず課題が残っています。市内全中学校の学力向上の取り組みを強化することで、市外の公立高校や私立高校の特進コースを選択する幅も広がっており、市内の高校の魅力づくりと中高連携の強化が必要です。

<市民意識調査結果>

市民意識調査結果 (R2調査)	領域名	必要度	満足度
	強化領域	2.54	1.96
市民意識調査結果分析	<p>令和2年度実施のアンケート結果では、「必要度」が高く、「満足度」は低い「強化領域」に位置しており、取り組みの強化が求められています。</p> <p>・令和2年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」ともに低く、「検討領域」に位置しています。妊娠から18歳までの継続した子育て支援の充実を行う一環として子ども子育て課との連携が求められており、幼保小中高の連携を深めたその成果を家庭や地域に伝えていく必要があります。</p>		

<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題	18年間を意識した幼保小中高のつながりを円滑に行うために、幼児教育基本方針「白杵っこ」育ての羅針盤の内容を保護者や地域へ周知し、家庭教育と合わせて実践していく必要があります。幼保小中高一体教育の推進を充実させるためには、幼保小の情報交換会や交流事業の充実とともに、幼児教育推進協議会や幼保小連携推進委員会の定期的な開催により、幼保と小学校を滑らかにつなげ連携を深めていく必要があります。また、白杵の将来を担う人材の育成を行う高等学校とつながりを深める体制の構築も必要です。
------------	--

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R1年度実績	R2年度実績	R3年度見込み			
1	高等学校奨学金交付金事業	学校教育課		2,445	1,975	2,580	重点継続		
2	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業	学校教育課		22,770	21,928	30,000	重点継続		
3	小中一体教育推進事業	学校教育課		704	411	819	重点継続		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				25,919	24,314	33,399			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	自立した社会人となるための基礎学力・基礎体力及び基本的な生活習慣の定着を図るために、保育園・子ども園・幼稚園・小学校・中学校・高校18年間を通した一体教育を今後も目指す必要がある。情緒豊かな人間性に加え、郷土に誇りと愛着を持ち、将来の白杵を支える人材となるよう育成していく。また、経済的理由により教育の機会均等に支障をきたすことがないよう、支援を継続していく。	課長評価	目標を達するため、現状維持とする
------	--	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)> ※以降の評価は、令和3年度~令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度	内部評価
令和5年度実施予定	-

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
	-

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--